

◎ 2月の校長日記を掲載します。

● 2月1日（火） ～ 一緒に ～

こどもたちも少しずつ日常を取り戻してきていて、遠慮しながらも明るい声が聞こえるようになってきました。マスク越しであっても、距離を取りながらであっても、やはり同じ場所で一緒に生活するということが、どれほど素晴らしく、どれほどありがたいことか、こどもたちの姿に教えられています。各トイレの点検、トイレトペーパーの補充を中心に校舎回りをしていた時、後日予定されている校外学習（寺内町見学）の話がされていた3年1組にお邪魔しました。「校長先生と一緒に回ってくれるよ。」との担任の先生の紹介に、「やった！」と喜んで？くれるこどもたちの姿に、涙が出そうになりました。今の社会の状況では、行けるかどうか微妙ですが、可能性を探りながら、当日に備えていきます。一緒に行きましょう！

● 2月2日（水） ～ 『春』を待つ ～

日々、地域みまもり活動を行っていただいている地域のみなさんには、こどもたちも含め地域の人々の安全を見守っていただくばかりではなく、地域コミュニティづくりにもご尽力いただいておりますこと、あらためて感謝申し上げます。昨日、地域（本校卒業生の保護者）の方から、給食用エプロンのボタンをいただきました。学校にて保管し補修用に使わせていただきます。ありがとうございました。また別途、地域の方々から「コロナ禍が明けたら、こども食堂を開設したい」というお話があると伝え聞かせていただきました。地域と学校が協働してできる形を模索できたら、そして楽しみながらできたらと考えています。どうぞよろしく願いいたします。このように学校だけではできないことも、地域のみなさんの応援、協働のもと実現に結び付くことが多いのではないのでしょうか。『春』を待ちながら・・・。

● 2月3日（木） ～ 安全・安心 ～

今朝、5時前に職員室を開錠した途端に電話が鳴った。「今朝も、ご出勤でいらっしゃいますか？」「おはようございます。出勤しました！いつもありがとうございます。」警備会社の方から確認の電話を頂戴したのでした。学校というところは、このようにたくさんの方によって守っていただいています。とりわけ本校では、さあ、やってみよう！『喜志一心』を合言葉に、安全・安心な生活と一緒に送れるよう、みんなの心をひとつにして、さまざまな活動を展開しています。コロナ禍においても、心の炎は消すことなかれ。先ほど、2年生のこどもたちが職員室にやってきて、「教室に磁石忘れていたよ。」とALTの先生に手渡していました。このあたたかい心、喜志の宝ですね。

● 2月4日（金） ～ 『立春』 ～

昨日は『節分』、まさに季節を分ける日でした。そして、今日は『立春』。月並みな

言い方では、「暦の上では春ですが、まだまだ厳しい寒さが続きます。」といったところでしょうか。東館2階廊下の窓の外に、いつの頃からか気温計が吊り下げられています。その下には、かわいいすずめが2羽いて、私を毎朝出迎えてくれます。窓をそっと開けるのですが、パタパタと（音はしていないのですが）飛んで行ってしまいます。どうしてそこにいるのか、夜の間ずっといるのか、 -4°C を示す気温計を見ながら、もの思いにふけておりました。朝日が差してきて、実際にはそれほど温度は上がらないのですが、気持ちは温かく、いや熱くなってきました。今日も一日、こどもたち、そして職員のみennaと喜志小を創ります！応援よろしくをお願いします。

● 2月5日（土） ～ ひとりも、またよし ～

今朝は6時20分に登校しました。休みの日はこれくらいで心にも体にも少しゆとりを持ってやっています。授業日（学校のある日）はフルスロットルで走っていますので、見えないことや気づかないこともあるかと思います。ひとりで今週を振り返り、そして来週以降を考えながら、土曜の朝を過ごします。こどもたちや職員と一緒に過ごしてこそその学校で、もちろんこれが一番楽しいのですが、この贅沢な時間も大切にしていきたいと思います。昼からは、久しぶりに読書三昧の予定です。

● 2月6日（日） ～ 歩く ～

今日は、少し歩く予定です。体と心をほぐします。

● 2月7日（月） ～ 読書について ～

昨日は、歩く予定でしたが、あまりの寒さに玄関を出たところで断念してしまいました。切り替えて、土曜日に引き続き読書中心の休日を過ごしました。職員室に『図書館分館』を設置して以来、先生方に本を読もうと呼びかけています。どんな本でもいい、途中まででもいい、つまみ食い（読もうと思うところだけ読む）でもいいのです。役に立たなくてもいい（実は本を選ぶという行為がすでに役に立っている）のです。今の自分には、この本はあっていないということを知ることだけできるわけです。もちろんいくつになってもできます。こどもたちにも、自分に合うか合わないかを知るために、たくさんの本を開いて欲しいと思っています。その経験の積み重ねが、自分に合った本を見つける近道だと考えます。そして知らない世界に偶然出会う大きなチャンスでもあるのです。読書、おもしろし。

● 2月8日（火） ～ 動き出す ～

「コロナ禍にあっても、学びを止めない」これはこどもたちの学びだけではなく、私たち喜志小職員にあっても同じです。例年、当たり前のように年度末に年度末総括を行い、新年度が始まってからその年度の教育計画を立ててきましたが、これでは4月の開幕ダッシュができません。そこで今年度は、1月に年度末総括を行いました。また2・3月で新年度の教育計画を策定する予定です。こうすることに

より、新年度のスタートをスムーズに行うことができるようになります。更に、来年度からは年度末総括を年末総括として12月に行います。創立150周年（来年度）に向けての動きもここから始めようと考えています。臨時休校明けから見合わせていた朝の運動場遊びを今日から再開しました。元気に走り回るこどもたちの姿に、「よく辛抱してくれたなあ。ありがとう。」と心で手を合わせました。

● 2月9日（水） ～ 『ゆっくり じっくり』 ～

前夜、久しぶりの雨でした。朝、登校しようと車に乗り込むとフロントガラスが凍っていて前が見えません。しばらく温風を出して自然解凍してから家を出ました。何事も急激に動かすとどこかに無理がきます。『ゆっくり、じっくり』やるのが大事。賢みなみなさんは、既にこのことに気がついておられるでしょう。しかしながら、今の世の中、この『ゆっくり、じっくり』が許されない。特にICT機器の発達によって、人間は本当により豊かになったのか、速さのみが追求されていないか考えさせられます。本校の教育目標である「生きる意欲、豊かな感性と行動力を持った人間の育成」達成に向けても、このことについても『ゆっくり、じっくり』みなさんと考えていきたいものです。ご意見ご感想をお待ちしています。

● 2月10日（木） ～ ピンク色 ～

昨日、夏休みに行われた「東京オリンピック・パラリンピック聖火採火式」で、こどもたちと一緒に撮っていただいた写真を、保護者の方より児童を通じてプレゼントしていただきました。早速、校長室入口の扉に飾り付けました。とても素敵なフレームまで用意いただきありがとうございます。さて、映っている私の服装（ピンク色のポロシャツ）を見て、先日の出来事を思い出しました。定期健診のため病院へ行き、検査着に着替えて控室にいたところ、「男の人にピンクの検査着を渡したのは誰？」と、看護師さんに尋ねられました。私は「全然かまわないですよ。ピンク色も好きだし。」と言ったのですが、「いえ、ほぼ間違いなく、男性は怒り出しはるんですよ。」とおっしゃいました。ピンク色が嫌いなら仕方ないのですが、どうやらそうではなさそうです。まだまだ不思議な世の中は続くのでしょうか。

● 2月11日（金） ～ やるときはやるんです ～

「ちょっと体を動かしてみようか」この間、ずっと事務処理に追われていたこともあって、体がなまっていました。昨日は、一石二鳥を狙って、まずは男子トイレの便器磨きをしました。1時間かけてじっくりやりました。休憩時間に入ってこどもたちに見つかった？しまいました。が、「すごくきれいになってる！」と喜んでくれてうれしかったです。次に、4年1組の体育の授業に参加しました。何の連絡もせず、突然運動場に行ったので、担任の先生もこどもたちも茫然?!。自分がまともにできるサッカーだったから、思いつきで行ってみただけなのです。「空に高く蹴ってみて」とのリクエストをもらい、やってみせました。「えっつ!!」と驚かれました。私もやるときはやるんですよ。(笑)今日は午前中、学校にいます。

● 2月12日（土）～2月13日（日）

自宅待機しながら、体と心のメンテナンスに努めます。

● 2月14日（月） ～ 生かされた命なのだから ～

今日は私事ですいません。朝からお休みをいただいて検査の結果を聞きに、病院へ行ってきました。「これから5年間経過を見ていきます。」そこから3か月に1回を3年間、その後半年に1回を2年間、ついに今日の日を迎えました。長いようで短い、短いようで長い5年間でした。「よく頑張られました。これからも検診は毎年受けてくださいね。」思えば、たまたま受けた検診で要精検の項目があり、念のために受けた検査で見つけていただいたわけで、「これはもう、生かされた命なのだから、これまで以上に世のため、人のために使わなあかん。」と深く心に刻み、今日までやってきました。そして今日を機に、さらにやらなあかんと決意も新たにしました。合言葉は、今日もやっぱり「さあ、やってみよう！『喜志一心』」です。

● 2月15日（火） ～ 人生の土台について ～

今日は、朝から日が差していたのですが、今は曇ってきました。しかしながら、子どもたちは、休み時間も運動場に出て元気に遊んでいます。「こどもは風の子、元気な子」と昔はよく言いましたが、最近ほとんど聞かれなくなりましたね。元プロ野球選手だった方の本に、「野球選手になるための基礎体力は、こどもの頃、外で走りまわって遊んだことでつくられた。」と書かれてありました。そして「こども同士で、与えられたものではなく、何かを創り出して遊んだ。」ともありました。技術の前に、人間が本来持っているこうした能力を、今こそ大事にしていきたいものです。運動場で工夫して遊んでいる本校の子どもたちをあらためて眺め、少しほっとしているところです。基礎体力と創造力、土台が大事ですね。

● 2月16日（水） ～ 『学び』について ～

今日の午前中は、曇り時々雪たまに日差しといったところです。最高気温も大阪は6℃の予想です。たいていの場合、喜志ではこれより2℃低くなります。では、今日の喜志の最高気温は何度になると予想できるでしょうか？いきなりのクイズでごめんなさい。そうです、答えは4度ですね。実はこの質問、学校で習う教科で考えると、社会、理科、算数と3つの教科を中心にさまざまな要素が絡んでいるのです。6-4=2でいいんじゃないの？ そう、解き方はそれであっています。ただ、ここでいう大阪とは、大阪府全体をさすのではないし、最高気温ってどういう気温のことなのか、予想なので本当にその温度になるとも限らない等々、ひとつの質問から考えるべき点がどんどん広がっていきます。本校においては、これからも基礎基本を大切にしながら、さまざまな個別また集団の『学び』をひろげ、より『豊かな感性と行動力を持った』人間（子どもたちも我々職員も）を育てていきます。この『学び』にどうぞご期待ください。そして応援のほどよろしく願いいたします。

● 2月17日（木） ～ もったいない ～

今朝は、温度計が今シーズン最高の最低気温（ことばは難しい） -5°C を示していました。そして、東の空に日の出は見られませんでした。とても大きくきれいな満月が西の空に浮かんでいました。毎日のことですが、本当に朝の空は私たちに楽しい情景をプレゼントしてくれます。これを見ないなんて、とてももったいないなあと思います。もったいないと言えば、まずは給食の残さいです。現在は、黙って準備し、黙食していることで、食べる時間もゆったりと取れ、残さい量は、とても少なくなっています。『けがの功名』といってもよいかもしれませんね。またどのこどもにも、体力、学力、精神力など、それぞれがぐんと伸びる時期があります。一説には、その時期が来る前に3か月程度の準備期間がいるとのこと。少しトレーニングしたけれど「効果ないやん」と、伸びる前に止めてしまうなんてこと、誰しも経験があるのではないのでしょうか。これもあと少し辛抱していたら・・・もったいないですね。今日もこどもたちに寄り添って、伸びが来るまで一緒に粘っていきましょう。ここで大人が焦ったら、もったいないですから。

● 2月18日（金） ～ なぜ、朝の時間が大切なのか ～

今朝も正門に立っていると、寒い中でも、「おはようございます！」と元気に挨拶をして登校してくる、多くのこどもたちの姿に、「よっしゃ、今日も『喜志一心』や！」と、私も気合が入ります。逆にポケットに手を突っ込み、うつむき加減で歩いて来る様子を見ると、「大丈夫？ しんどくない？ 朝ごはん食べてきた？」などと声を掛けます。人間、調子が悪い時もあるのですが、この姿が続くと、寒さや単なる不調だけではないのではと、担任の先生から聞いてもらったり、保護者の方に連絡を取ってもらったりします。朝の登校の様子には、子どもたち自身の調子だけでなく、家庭の状況など多くの情報が詰まっているのです。このこともあって、私は朝の時間を大切にしているのです。一日は、必ず朝から始まりますから。

● 2月19日（土）

6時15分登校。午前中は学校待機しながら雑用と掃除、午後は音楽コンサート、今日も一日、充実した生活を送ります。

● 2月20日（日）

自宅待機しながら、体と心のメンテナンスに努めます。今年度のまとめ方も考えます。

● 2月21日（月） ～ 「音楽」について ～

一昨日行った音楽コンサート（バイオリニストたちによる共演）によって、心も体も癒され、今日も快調です。音楽のことは門外漢ですし、もちろん！バイオリンも弾けません。ただ、人間にとって音楽が必要不可欠なもので、どれほど体と心に効能があるかということは、人一倍知っているつもりです。そして、今日もこどもた

ちと一緒に、喜志小のハーモニーを奏でていきます。

● 2月22日（火） ～ 数字記念日の表彰式 ～

今日は、数字記念日（と、私が勝手に命名した日）です。なぜかという、2022年2月22日で、なんと「2」が6つも並ぶ、めったにない日だからです。次に、こんな凄い事が起こる日は、2222年2月22日（「2」がすべて並ぶ日）で、今日から200年後となります。ちなみに「1」が7つ並ぶ日は11111年1月1日、8つ並ぶのが11111年1月11日と11111年11月1日、9つ並ぶのが11111年11月11日です。「1」が圧倒的に有利なのです。もちろん、どんな日も大切な一日ですから、今日はいつもの一日よりほんの少しだけ気合を増量していこうと思っています。今朝は臨時の全校朝会（Zoom）でした。富田林市教育委員会主催「とっぴーと読もう！読書感想文コンクール」で入賞した児童6名と、体操競技の大会で優勝した児童1名の表彰式をしました。今年度はとくに表彰がたくさんあって、どのように時間調整しようかと、うれしい悲鳴をあげています。

● 2月23日（水） ～ ありがとうございます！ ～

昨日の昼休み、3人の児童が私を訪ねて職員室へ来てくれました。「校長先生、ドッチビーを取ってください。」緊張しながらのお願いです。「えっ、どうしたの。詳しく教えてください。」聞くと、運動場でドッチビー遊びをしていて、ひとりの児童が投げた時に突風が吹き、校舎の屋上に乗ったとのことでした。5時間目が始まってから屋上に上がり、探し物を発見、回収してきました。地上に降りて、空高く掲げると、「ありがとうございます！。よかったあ。」感謝と安堵の気持ちを端的に話してくれました。正直に言うと「突風とはいえ、屋上まで届くかなあ？」と疑心暗鬼で探しにいったんだけどね……。とてもいい気分でお休みの過ごし方です。私の方こそ「ありがとうございます！」です。

● 2月24日（木） ～ 学校に来ることの意味 ～

今朝は、もうないだろうと思っていた今シーズン最低気温記録を更新しました。なんと-6℃でした。7時40分の登校時朝礼でこのことを話すと、「そんなに寒くないけどなあ」との反応。そうです、風がなかったので体感温度はそれほど低くなかったのです。こどもたちよくわかっています。自然とともに生きている！3時間目は1年生の参観リハーサル。私の判定は◎「いっしょうけんめい演じていた」○「ましがいはOK」△「出番じゃない時の様子がやや気になる」でした。2年生にもお客さんとして参加してもらいました。こちらの様子は◎「しっかり、いい姿勢で観ていた」でした。もちろん1・2年生ともに成長を感じました。ひとりひとりのいっしょうけんめいを、集団で生活し、一緒に何かに取り組むことによって、みんなが知ること、自分と自分たちの自信につなげること、次への意欲を持つこと。学校に来ることの意味は、ここにこそあるのです。1年生の保護者のみなさん、

明日は、**生**で観ていただき、一緒に学校に来ることの意味を考えていただければ幸いです。

● 2月25日（金） ～ **生**に勝てるものなし（その1） ～

今日は3年生の社会見学があり、市内にある『寺内町』を歩きました。年に一度、この日は、『寺内町』ツアーコンダクターになり、富田林駅に先回りして、「おはようございます。ようこそ富田林寺内町へ。私は、本日みなさんをご案内するガイドです。どうぞよろしく！」とこどもたちを出迎えるのです。「校長先生やん！」「ガイドできるの？」さまざまな表情で私を見てくれるのが楽しいです。そして、実際に歩いて、事前に学校で学習してきたさまざまな物、建造物、風景などを自分の目で見たり、私のつたない説明でも、いっしょうけんめい聞いてくれたりしながら、驚きや感心・納得などの声をあげてくれます。やはり**生**に勝てるものはありません。そして、「家族と一緒にまた来たい！」「今日見られなかったところも今度見たい！」「友だちと来たい！」と、次へ繋がり、広がっていくことが、私の喜びを更に増してくれるのでした。ところで、私がどうして『寺内町』ガイドができるかって？！ これについては、またの機会に・・・。

● 2月26日（土） ～ **生**に勝てるものなし（その2） ～

昨日の午後は、いよいよ1年生の授業参観、「くじらぐも」の劇（ミュージカル）の本番でした。たくさんの保護者・ご家族がおられる中、いい意味で張り切り、緊張感を持ってのスタートでした。私は、前日のリハーサルで、△「出番じゃない時の様子がやや気になる」と伝えたので、ここに注目して観ていましたが、たった一日で見事に大変身、『芝居は、動と静があるから人を感動させる』『静があって初めて動が引き立つ』ということ、1年生が証明してくれました。また、「仲間と一緒に成功させるんだ！」といった気迫がひしひしと伝わってくるものとなりました。そして私同様、リハーサルと本番、両方観られる機会をつくれればより理解してもらえるなあと考えました。終了後、「感動しました。」「仕事を早く済ませて駆けつけた値打ちがありました。」とのお家の人からの声に、こどもたち、そして職員も大感激でした。やはり、**生**に勝てるものなしですね。映像ではこうはいきませんから。（今日は、もう少し学校で雑務をこなしてから帰ります。）

● 2月27日（日）

自宅の庭の手入れと掃除を行う予定です。

● 2月28日（月） ～ **気持ち良い月末** ～

2月最後の日は、もう一人の職員と5時5分登校（同時着）でした。いつもは朝の支度をするのですが、今朝は、給食の牛乳配送の方が「給食室のシャッターが開かないので、鍵を貸して欲しい。」と来られました。「**私、行きます。**」先の職員が合鍵を持って給食室へ走ってくれ、無事開けてくれました。少し鍵がずれていたよう

でした。私一人なら職員室を全て閉めていかなければならないところでした。見えないところでも、本校の職員は学校のために支えてくれています。本当にありがとうございます、心強いです。校舎や窓を開けに回っている途中で、二上山の右手からの輝かしい日の出を見ました。7時40分、いつものようにひまわり教室前に行くと、ミュージカルに向けて、6年生のダンスチームの児童が朝練のために体育館への階段を元気よく上がっていきます。8時には、音楽とともに軽やかな足音が響いてきました。体育館を見上げると、その上には雲ひとつない青空が広がっています。午前中は、お別れ集会に向けて、1～4年生の練習とビデオ撮りでした。見に行くことはできませんでしたが、場所得（体育館の真下が職員室と校長室）で、きれいな歌や力強い挨拶などを、しっかりと聞かせてもらうことができました。喜志一心で、今日もガッチリと過ごします。